

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年10月12日

中央労働災害防止協会

労働安全衛生マネジメントシステムの 国際規格（ISO45001）の認証を開始

中央労働災害防止協会（中災防：理事長 八牧暢行）は、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格「ISO45001」の発行に向けて本年7月に国際規格開発案「DIS (Draft International Standard) 2」が承認されたことを受け、「JISHA - ISO マネジメントシステム審査センター」において、ISO 認証事業（※1）を本格スタートさせます。

ISO45001 は2018年3月の発行が見込まれており、現在国内では、ISO45001 の開発作業と並行して、災害防止に効果のある日常的な安全衛生活動等を反映させた日本版マネジメント規格（※2）の作成が進められています。

中災防では今後、ISO45001 の翻訳版となる「ISO (JIS Q) 45001」と日本版マネジメント規格をセットで認証することにより、企業が構築・運用している労働安全衛生マネジメントシステムが国際通用性と安全衛生水準の一層の向上を同時に得られるよう対応する予定です。

JISHA - ISO マネジメントシステム審査センターは、審査部門の公正中立性と独立性を高めるため、中災防の他部署から独立した理事長直轄の組織として、2017度から改組・発足させ、運営しています。今後、「長年培ってきた労働災害防止のノウハウなどを強みに、実効ある労働安全衛生マネジメントシステムの認証事業を進め、企業における労働災害の減少に積極的に貢献したい」（八牧理事長）考えです。

認証に向けた取り組みなど詳細な情報は、専用ウェブサイト

(<https://jishaiso.jp/index.html>) で提供していきます。また、11 月から無料で開催する「中災防の ISO45001 認証取得説明・相談会」においても情報を提供することとしています。

※1 まず、DIS2 を基準としたプライベート認証を実施します。公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）から ISO45001 の認証機関の認定を受けた後、公証力を有して ISO45001 の認証を行います。なお、実施したプライベート認証は、（DIS2 と ISO45001 に差分がある場合は差分審査を経て）改めて正式な ISO45001 認証として認められます。

※2 ISO45001 は翻訳されて JIS Q 45001 になりますが、日本企業で定着している 4 S（整理・整頓・清掃・清潔）活動や危険予知（KY）活動といった日常的な安全衛生活動が盛り込まれていないため、それらを要求事項とし、JIS Q 45001 と一体で運用できる「日本版マネジメント規格」を JIS 規格として作成する作業が進められています。

※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブに配布しています。

中央労働災害防止協会（中災防）

【担当】 JISHA - ISO マネジメントシステム審査センター

所長 上級執行責任者 白崎 彰久

電話：03（3452）6694／FAX：03（3452）1275

E-mail：jisha - ms@jisha.or.jp

【照会先】 総務部 広報課長 高橋まゆみ

電話：03（3452）6542／FAX：03（3453）8034

E-mail：koho@jisha.or.jp